

大正デモクラシーの時代について

□ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1912年、桂太郎かつら たろうが3度目の藩閥内閣はんばつないかくを組閣すると、議会中心の政治を求める(A)
 が起こった。(B)は、民本主義みんぽんしゅぎをとなえて a 政党内閣せいとうないかくの確立を主張した。1919年に
 ドイツでは(C)が制定され、日本でも(D)の実現を求める運動が広がった。
 1925年、憲政会けんせいかいの(E)内閣のとき、b 新しい選挙法が制定された。政党内閣の時代
 には、協調路線がしかれ、1928年にパリ不戦条約、1930年に(F)条約が結ばれた。

(1) 文中の A ~ D にあてはまる語句や人物名をそれぞれ書きなさい。

A (護憲運動) B (吉野作造)
 C (ワイマール憲法) D (普通選挙)
 E (加藤高明) F (ロンドン海軍軍縮)

(2) 下線部 a の内閣を、1918年に本格的に成立させた人物
 はたれですか。 (原 敬)

(3) 下線部 b の内容を次から選べなさい。 --- (ウ)

ア 20歳以上の男女に選挙権をあたえる。

イ 直接国税3円以上を納める25歳以上の男子に選挙権
 をあたえる。

ウ 25歳以上のすべての男子に選挙権をあたえる。

(4) 下線部 b の制定と同じ年に、共産主義をとりしめるために
 制定された法律を何といいますか。 (治安維持法)

(5) 下線部 b の背景には、社会運動の発展がありました。
 平塚らいてうや市川房枝らが1920年に設立した組織を
 何といいますか。 (新婦人協会)